

合 同 報 告 会 要 旨

開催日時	11 月 27 日 (火)		19 時 00 ~ 21 時 00
市町村名	堀金村	グループ名	
メンバー			

●グループ1

- 商工会議所からというスタートだが、農業の分野の意見はどうなっているのか、1 km30 ~ 50 億円の税金を使うのか (血税)
- 農業中心の村だ。農は心を耕す。農地・農家・広域農道の整備。今ある道路を整備して欲しい。
- 長野県は観光客が来る。空き缶、タバコの吸殻の対策。景観を大切に。捨てたら罰金。長野県に来たら、環境を大切にするんだ。タバコ、割れたビンが田んぼの中にある。
- 30 年前の堀金村へまた、景色は全く違った。
- (村議会、議員) 私たちの村民の意見を聞いて。ズタズタに切らないで欲しい。
- 農家、田んぼー農家の生活が今じゃできない。飯が食っていけない、後継ぎもいない、生産に合わない、荒廃地が多く (今 13ha) ある。
- 生活道路の整備にこそ、お金を使って欲しい。豊科~堀金、農業道路の拡幅が欲しい。
- 今の時代と道路の必要性との関連。
- 自分の身にふりかかれば自分も反対と言ってしまうかもしれない。
- 新潟・大和町小出インターへつながる道路。すごい!!すれ違う車 4 台!高規格道路か?
- 高規格道路は短時間で消費者と生産者を結ぶ→輸送形態はどうあったらいいのか。農業振興→産直、今朝取れたものがその日の食卓にのる→物を輸送する
- 地域の中にどんな道路が必要なのかが問題。今ある高速道路やオリンピック道路、山麓道路などを基軸にして在来道路とのアクセスを整備したほうがよい。
- 今ある道路の拡幅と長いスパンで考えるコストの検討が必要。
- 経済効果はマイナスではないか。高規格道路ができて村が栄えるか。通過する車両はあるが、道の駅に村の特色をもたせれば堀金村に降りてくれる。
- 道路建設に向けたプロセスは大事である。道路は必要だけど、今つくる必要はあるか。広域での交流を考える。→今の道路網で十分だ。莫大なお金がかかる。この道づくりを今つくる必要があるのか疑問だ。

合 同 報 告 会 要 旨

開催日時	11月 27日(火) 19時00～21時00		
市町村名	堀金村	グループ名	
メンバー			

- 安曇野は高速道路がないけど知恵を働かせて特色づくりが大事。安曇野に南北を縦断する道路は地球環境や人類の生存から考えれば、長期に見れば負の財産ではないか。100年先に車社会はどうなっているのか。ガソリンはなくなっているのでは。
- 主婦の立場
そんなに早くスピード化する必要があるのか。
生産者が分からない物は、何を使っているかわからないので買いたくない。
地元で生産した物を地元で消費する。
- 堀金村をどうするか。堀金村を都会の人はどう考えるか。
少し不便でもこの田園風景がいい。
棚田オーナー制に人気がある。
都会の人、ビルの中で暮らしていると土を求める。
岩原の棚田
- 道路の建設をつきとめていくと堀金村の村づくり、どういう特色をもつか・・・につながる。
- 基盤整備した・・・畑を平にして・・・自然をこわしていいのか本当に涙がでた。でも、これをしなければ農業を守ることではできなかった。・・・自分の中に試行錯誤がある。国、県の施策のミスである。土木・農林課など連携が必要
- 便利の追求でいいのか便利さはきりが無い。・・・日本中みんなが追求すれば便利の価値がなくなる。広域での道づくりは必要だ。時期、方法は考えるべきだ。
- 広域での道づくりを考えても今ある道路で十分。豊科は道の中に家がある。農業道路は、田んぼへ行くのに道路横断するだけでも命がけ。
- 道づくりをきちんと検討していけば高規格道路の必要性も浮きぼりになる。
- 道路行政のあり方・・・住民の声を聞きましょう。住民が考える機会があれば村を見直すことも出来る。

合 同 報 告 会 要 旨

開催日時	11 月 27 日 (金)		19 時 00 ~ 21 時 00
市町村名	堀金村	グループ名	
メンバー			

●グループ2

【経過報告】

全員 (14 人) が参加した、第 1 回は、意見交換会に参加した理由、意見を述べてもらった。賛成、反対、皆さんの意見を聞きたい、勉強をしたい等の理由意見が述べられた。賛成又は必要が 4 人、反対又は必要ない、疑問が 7 人、どちらか考えたい、皆さんの意見を聞きたいが 3 人であった。

県に対して、これまでの調査内容 7 項目の資料提出を求め、資料の入手が実現した。

2 回目 ~ 4 回目までは、県提出資料の説明を受けると共に高規格道路と農業、堀金村の必要性、経費効果等関連付けた意見交換を行った。

レポート提出者 8 人の重点要旨を各自あげてもらいました。

【高規格道路建設に賛成又は必要。(2 名の意見)】

- 豊科から白馬の道路は、開発の速度が大きく、生活道路の整備が追いついていかない状況下であり、生活道路と通過車両の道路と住み分けていかないと弱者が車の増加に耐えきれない状況にある。
- 堀金物産センターの賑わいにみられるように、道路ができることにより新たな雇用や産業を生み出す要素がある。
- 減反政策により休耕田や荒れ地が増加する中で、道路建設による用地の占める割合と休耕地との比率を考え、道路買収費として地元に落とされるお金で新たな産業を生み出していく素地があるのではないかな。
- 全般的に、その財源で信号機、横断歩道、1m100 万円の道路費用があれば、保育園・学校がいくつもできるとか、そんな低次元の話ばかりで失望した。道路がどういうものか解っていない。
- 村、地域の民力度の向上 (一部上場優良企業の誘致)
優良企業の進出は雇用機会の安定、向上、高給社員による村財政のアップ。
- 観光地へのアクセス改善等、地域活性化の促進。
- 道路混雑、渋滞解消 (R147、R19) 生活道路の確保 (国営公園入園者、車両、観光道路との住み分け)
- 高規格道路を糧に土地に付加価値をつけ、農家を元気づけなくてはならない。
- 田園風景や景観が破壊されると言うなら、そう発言する方は、それなりの代償を農家に支払うこと。

合 同 報 告 会 要 旨

開催日時	11 月 27 日 (金)		19 時 00 ~ 21 時 00
市町村名	堀金村	グループ名	
メンバー			

【高規格道路建設に反対又は堀金村に必要ない、疑問。(6名の意見)】

- 高速から高速を結ぶのが高規格というのなら、中部縦貫道がままならないのに、なぜ波田から糸魚川なのか。堀金～大町区間が調査区間になったのか。この安曇野の将来展望、将来構想はどのように考えているのか。住民のコンセンサスはとかれているのか。本当に高規格道路がなければ安曇野はやっていけないのか。
- その前に生活道路の整備・拡充など緊急的住民の切実な問題が山積されている。優先すべきは、生活道路の整備・改良・改善であり一日も早い一部渋滞の解消であり、信号機・歩道の整備による安全対策が必要である。
- 松本・糸魚川高規格道路ありきではなく、県が計画してきた道路・高規格計画の全容を広く住民に十分なる調査資料を提供し、説明責任を十分に察することと、この意見交換会の模様をインターネット、広報等で住民に知らせることを提案致します。
- 一つ疑問が残る。それは最初に道路が必要だからという要望があり、その為の調査・予測が行われていることで、道路を作った場合の利点が強調されている。
- 要望と調査の間に 4 半世紀のへだたりがあり、状況が変化しているので現時点での要望があるか是非を判断し、調査予測をすべきです。
- 高規格道路の沿線は通過点となるので、堀金村住民として反対する。
- 中部縦貫道の計画が具体化していない現在、豊科Ⅰ・Ⅱを起点とした高瀬川堤防を利用し護岸工事を兼ねたルートがコスト的にも安価であり一石二鳥であるので推選したい。
- 計画の一つ山麓ルートは反対である。これは第一に自然破壊・景観を損なう。第二に地域集落の分断、第三に建設費の増大、第四にそり表遺跡等があり、盛土によって遺跡を保存している。
- 堀金村第 4 次総合計画の合理的な土地利用の促進、優良農地の保全、景観作成の推進、田園風景を守るなどの推進に支障をきたす。
- 道路建設により、三角形の土地が残り機械作業ができなくなり、荒廃した無駄な土地ができると共に気象条件、地下水脈の変化、騒音、排ガスによる自然生活環境の変化が農作物に悪影響を及ぼす。
- 生活道路の交差点の拡幅、信号機動作の変更によって、左折、直進、右折同時通行等による改善や観光客の地元交通機関の利用で交通渋滞は充分解消される。

合 同 報 告 会 要 旨

開催日時	11 月 27 日 (火)		19 時 00 ~ 21 時 00
市町村名	堀金村	グループ名	
メンバー			

- 右肩上がりの経済上昇は見込まれない上、国民 1 人当たり 550 万円もの借金を抱えている赤字国が 5,000 億円もかけて高規格道路を造るよりも生活道路の改善や社会福祉にまわしてもらいたい。
- 堀金村の自然は絶対失いたくない。一度失うと元には戻らない。これ以上の開発はやめてもらいたい。
- 私の近くを通ることはあくまで反対です。今ある道路はきちっと整備して欲しい。

●グループ3

【意見交換会合同報告会にあたって】

- 意見交換会が運営され、このような会をもったことに、以前の説明会に対して一歩前進と評価の声もあり、また、この機会にこういう問題に関心をもち参加できたとの意義。
意見交換に当たり対象となった高規格道路の内容があいまいな中、スタートし、各人の行動範囲も価値観も違い、道路に関する情報が個人把握範囲と、交換会で順次情報が開示される等各人レベル、内容、差異ある中での意見になった。情報の公開にあたって知る努力と責任、知らしめる責任が大事だった。集約意見の疑問符つきが多いことは否めない。
賛否は控え自由な意見を：意見を言う以上底流に存在せざるを得ない。今回の意見も大北以北地域にも配慮しなくてはとの意向もありましたが、堀金村周辺を基準に考えたものが大半である。

【自然景観、環境への影響面から】

- 景観破壊につながるではないか、安曇野の財産（景観）を損なう。安曇野を世界遺産にとの観点からは逆行では。この件について景観に配慮した設計ができるという意見とできないという意見がありましたが、設計内容の具体的な案なく、通過地域もいくつかあり、一方通行となりました。又、設計内容の検討以前に道路建設自体がすでに景観破壊につながるとの意見。ここは特に景観という感覚的な面が主な点、価値観の違いがでてくる。
- 生活環境面影響懸念、騒音、振動沿線懸念とされる。（中央道沿線住民例、出来てしまってから困っても誰も責任をとれない）
- 交通環境面 バイパス機能ができれば生活道路の交通量減により向上期待できる。

合 同 報 告 会 要 旨

開催日時	11 月 27 日 (火)		19 時 00 ~ 21 時 00
市町村名	堀金村	グループ名	
メンバー			

【新規道路の必要性について】

- それだけの交通量があるのかとの疑問が出され資料の必要性提示及び関連意見がありました。交通量 20 年後に倍と想定し、又国営公園の利用車車輛用としても必要：20 年後も含め経済、人口、国営公園（250 万人から 50 万人に修正か）スキー客減少等を考えても疑問。4 車線の道路が必要なほどの交通量は考えられない。通勤渋滞及び IC 周辺等特定時期を除き渋滞は見当たらない。
- 費用対効果についても資料提供の要請がありました。費用対効果充分にあるというが、交通量試算も含め疑問。高速道、有料トンネル、本四連絡橋の試算等への不信感。この付近の山間部 40 億のトンネル費用効果無しでカット事例。過疎対策として 1 キロ 40 億円の道路とどう優先づけているのかわからない。現に県運営の有料道路の大半は赤字運営、いろいろ理由があるにしても見通しの甘さは否定できない。
- 松本、塩尻方面への渋滞対策として必要：渋滞対策は必要ではあるが、それがイコール高規格道路にはならないのでは。現行道路整備、一部バイパス機能附与、梓川、市街地進入路の整備により渋滞緩和が有効かつ優先。
- 生活道路利用者への迷惑緩和も現状道路の改善整備のほうがより交通面での利用者サービス向上につながるのではないか。
- 緊急車輛の移動時間は確保できるとあるが、本当に全体として緊急移動体制を検討しているのか、山間部はヘリコプター移動のほうが効果的では。
- 物流面（産地間流通等）において便利になるとあるが、それだけの品目と量があるのか疑問。
- 移動時間の短縮出来るとあるが、現状の移動時間（糸魚川まで 2 時間程度）がそれほど問題か。
- 観光面でも来客が安曇野に観光客は何を求めてくるのか。高速で通過するだけが求められているわけではないのでは。

合 同 報 告 会 要 旨

開催日時	11 月 27 日 (火)		19 時 00 ~ 21 時 00
市町村名	堀金村	グループ名	
メンバー			

【道路へのお金（税金）の使い方の面から】

- 新規に道路を造るより、現状の生活道路整備への投資が優先ではないか。お金が有り余っているのではなく、少ないお金を優先順位をつけて効果的に使う工夫が必要では。
- 一部県道、村道への格下げ、また関連道路新設による県、村での維持管理費増懸念。全体（国も含め）として維持管理費増。さらにお金がかかることになりませんか。
- 国レベルでも道路への投資見直しの今、30 年前からの計画、当時とは状況も大きく変化、見直すことも必要。借金道路を造っている今、何十年も先の負の事業がなぜ必要か。

【道路の考え方】

- 道を造るなら景観に配慮したバイパス（豊科 I・C から高瀬川沿い）で充分ではないか。
- 現行道路の改良、拡充で充分では。費用も少なくてすむ。
- 全国に先駆けたモデル道路を考えるという視点から、計画を考え直してみたらどうか。あらゆる道路機能の面から、事故のない（起きにくい）生活にやさしい、利用しやすい等々。人々の価値観が多様化している今、多面的な見直しが必要ではないか。

【まとめ】

賛成反対の前に、多くのメンバーの方々の気持ちの代弁

今道路がなぜ必要かわからない。それに対する明確な解を求められなかったもどかしさが多くのメンバーにありました。現状、道路についてはいろいろな問題はあると思っているが、その一つの解が高規格道路とは思えない。一面で便利になることはありますが、何でも便利になればよいということではないのでは。何でも反対だと言うことではなく必要なものは何なのかを見極める努力が今全員皆に求められていると思います。必要と思えないからお金のない今使うことはない。もしお金があるのならより優先すべきことがあるはずだ。

合 同 報 告 会 要 旨

開催日時	11 月 27 日 (火)		19 時 00 ~ 21 時 00
市町村名	堀金村	グループ名	
メンバー			

●自由意見

- グループ 1 の個人的意見、公開のインターネットの内容で、南安曇野・大北に道路の必要性が書かれている。自然が大事で守ることも良いが、道路が出来ても人の心の中からも自然を守ることが出来るのでは。高規格道路は生活道路ではなく道路の種類が違い、既存にある道路とネットワークを形成する道路である。この地域は便利がよく、宅急便も 1 日で着くが、大北は不便で、道路を欲しいといっていることから、地域のエゴだけで考えてはいけない。ただし造る、造らないは、様々な議論をした上で他の地域との関連も考えるべきである。
- グループ 3 の意見に賛同します。問題解決のため何で道路でなくてはいけないうか。車を使った通勤の渋滞解消のためには、松本で行っているパークアンドライドを広げ、車の交通を減らせば大北への宅急便も便利になる。行政も他の方法を考えるべき。講演会で全国へ行ったとき、堀金村には国道、鉄道駅、高速道路がない村と紹介している。どんな山奥かと言われるが便利なところだと説明している。
- 意見交換会は白紙でといっているが、22 日の大町で議員促進連盟の地域懇談会に県の責任者が (工事課長) 基調報告をしているが、どうい立場で参加しているのか。

県 22 日は堀金—大町間の促進議員連盟の総会に要請され、豊科、大町建設事務所所長が参加し、道路建設課長が、今までのパンフレット、チラシの内容を説明しており、促進の立場でない。

- 県の担当者が白紙というのはおかしい。住民の要請で議会が決定し国の決めたことであるから県は推進の立場であるはずだ。時代状況の変化の中、意見交換会でもう 1 回住民の意見を聞きその意見を取り入れて推進していくことでは。

県 推進の団体はいくつかある。白紙の内容は、ここまで進んで来た経緯を説明したが今までは行政の立場で進めてきたが、ここで一旦立ち止まって住民の意見を聞いた上でどうするか考えていくという意味での白紙である。行政の進め方がまずかったこと、住民のニーズの色々な要請を取り入れるためである。

- グループ 3 の意見には失望した。もう少し議論を深くして欲しかった。20~30 年後の村をどうするかを他の地域と関連づけて行くかが問題で、近視眼的見方では良くない。例えば、道路を建設し、他地域と堀金村を観光、産業振興でどう位置づけるかが必要である。提言を幾つか持っているののでいつでも講義します。

県 これまでの意見・提言は、県の上層部、知事に報告します。
今日の話の内容をまとめて、広報などに掲載します。

以上